

第21回国家資格キャリアコンサルタント
学科試験対策

超直前 & 永久保存版

ヤマ当て講座

YouTubeの設定を変更して、
2倍速でのご視聴をおすすめします。

キャリア魂塾
career-soul

心理カウンセラー
キャリアコンサルタントに

絶対必要な3つのポイント

①自分の健康を守る

0:14 / 8:47

設定

第20回超直前ヤマ当て講座でお伝えした 今後の重要論点は、当然第21回も継続！

1. オンライン面談（キャリアコンサルティング・採用面接等）の活用
2. 多様性の理解とキャリア支援
3. 両立支援
4. 高齢者のキャリア
5. スーパーバイザー制度の活用機運の醸成等
6. 実務的に遭遇することの多い障害
7. リカレント教育

第21回試験以降の重要テーマ

1. 守秘義務・信用失墜行為の禁止
2. 多文化・社会正義の理論
3. 公認心理師等が学習する内容



出典:「キャリアコンサルティング理論と実際6訂版」雇用問題研究会
2022©キャリ魂塾 合同会社インクルーシブ

1. キャリアコンサルティングの目的

職業能力開発促進法上に基づいて考えたとき、キャリアコンサルティングの究極的な目的について、誤っているものはどれか。

1. 職業の安定
2. 労働者の地位の向上
3. 経済及び社会の発展
4. 生涯発達

1. キャリアコンサルティングの目的

職業能力開発促進法上に基づいて考えたとき、キャリアコンサルティングの究極的な目的について、誤っているものはどれか。

1. 職業の安定
2. 労働者の地位の向上
3. 経済及び社会の発展
4. ~~生涯発達~~

2. 職業能力開発の手段

職業能力開発促進法上に示されている、職業に必要な労働者の能力を開発し、向上させることを促進するための手段として、誤っているものはどれか。

1. 職業訓練
2. 職業能力検定の内容の充実強化・円滑化
3. 労働者自らが教育訓練と職業能力検定を受ける機会を確保するための各種施策
4. 労働者の気持ちを聴くための傾聴

2. 職業能力開発の手段

職業能力開発促進法上に示されている、職業に必要な労働者の能力を開発し、向上させることを促進するための手段として、誤っているものはどれか。

1. 職業訓練
2. 職業能力検定の内容の充実強化・円滑化
3. 労働者自らが教育訓練と職業能力検定を受ける機会を確保するための各種施策
4. ~~労働者の気持ちを聴くための傾聴~~


3. 事業主の責務

労働者の職業生活設計に即した自発的な職業能力の開発及び向上を促進するために事業主が講ずる措置に関する指針（2001年9月12日厚生労働省告示第296号）に示された事業主の責務として誤っているものはどれか。

1. 情報の提供、相談機会の確保その他の援助
2. 労働者の配置その他の雇用管理についての配慮
3. 休暇の付与
4. 教育訓練等を受けるための有給休暇の取得促進

3. 事業主の責務

労働者の職業生活設計に即した自発的な職業能力の開発及び向上を促進するために事業主が講ずる措置に関する指針（2001年9月12日厚生労働省告示第296号）に示された事業主の責務として誤っているものはどれか。

1. 情報の提供、相談機会の確保その他の援助
 2. 労働者の配置その他の雇用管理についての配慮
 3. 休暇の付与
 4. ~~教育訓練等を受けるための有給休暇の取得促進~~
- どっちも言っていることが同じ！
- 

4. 職業能力開発推進者の役割

職業能力開発推進者の役割として、誤っているものはいくつあるか。

1. 事業内における職業能力開発計画の作成と実施
2. 企業内での従業員に対する職業能力の開発に関する相談と指導
3. 国、都道府県、市町村との連携
4. 能力開発の意欲が無いものへの退職勧奨

4. 職業能力開発推進者の役割

職業能力開発推進者の役割として、誤っているものはいくつあるか。

1. 事業内における職業能力開発計画の作成と実施
2. 企業内での従業員に対する職業能力の開発に関する相談と指導
3. 国、都道府県、~~市町村~~→中央職業能力開発協会（各都道府県協会）との連絡
4. ~~能力開発の意欲が無いものへの退職勧奨~~

5. 守秘義務の解除

ヒルによる、守秘義務解除が例外的に認められるケースのうち、誤っているものはどれか。

1. スーパーバイザーが話の内容を聴いたり、逐語録を読む可能性があるケース
2. クライアントが自分あるいは他人に危害を与える意図を示した場合、法律にしたがってその危険性を通報する
3. 現在あるいは過去の児童虐待あるいはネグレクト（無視）の十分な疑いがある場合、法律の定めるところにより通報する
4. 厚生労働省の開示命令

5. 守秘義務の解除

ヒルによる、守秘義務解除が例外的に認められるケースのうち、誤っているものはどれか。

1. スーパーバイザーが話の内容を聴いたり、逐語録を読む可能性があるケース
2. クライアントが自分あるいは他人に危害を与える意図を示した場合、法律にしたがってその危険性を通報する
3. 現在あるいは過去の児童虐待あるいはネグレクト（無視）の十分な疑いがある場合、法律の定めるところにより通報する
4. ~~厚生労働省~~→**裁判所**の開示命令

6. 第11次職業能力開発基本計画

第11次職業能力開発基本計画において述べられた、キャリアコンサルティングに関する要点として誤っているものはどれか。

1. キャリア形成サポートセンターの整備
2. ジョブカードの利便性及び活用促進
3. オンラインを活用したキャリアコンサルティングの推進
4. キャリア教育の小中学校への導入

6. 第11次職業能力開発基本計画

第11次職業能力開発基本計画において述べられた、キャリアコンサルティングに関する要点として誤っているものはどれか。

1. キャリア形成サポートセンターの整備
2. ジョブカードの利便性及び活用促進
3. オンラインを活用したキャリアコンサルティングの推進
4. ~~キャリア教育の小中学校への導入~~

6. 第11次職業能力開発基本計画

1. キャリア形成サポートセンターの整備
2. ジョブカードの利便性及び活用促進
3. オンラインを活用したキャリアコンサルティングの推進
4. キャリアコンサルティングに対する産業界・企業の理解促進
5. キャリアコンサルタントの活動領域に応じた専門性の深化、経験豊富なキャリアコンサルタントによる指導等の実践力向上に向けた取り組み推進
6. キャリアコンサルティングの相談内容の複雑化・高度化への対応
7. 企業に関わるキャリアコンサルタント（内容は込み入っているため割愛）

7. キャリアの定義①

スーパーによるキャリアの定義として誤っているものはいくつあるか。

1. 職業人生を構成する一連の出来事
2. 職業発達の全体の中で、労働への個人の関与として表現される職業と、人生の他の役割の連鎖
3. 青年期から引退期に至る、報酬を得る活動の一連の地位
4. 学生や年金生活者、家族や市民といった役割を除く職業上の出来事

7. キャリアの定義①

スーパーによるキャリアの定義として誤っているものはいくつあるか。

1. **職業**人生を構成する一連の出来事
2. **職業**→**自己**発達の全体の中で、労働への個人の関与として表現される職業と、人生の他の役割の連鎖
3. 青年期から引退期に至る、~~報酬を得る~~→**報酬、無報酬**の一連の地位
4. ~~学生や年金生活者、家族や市民といった役割を除く職業上の出来事~~

それには、**学生、雇用者、年金生活者などの役割や、副業、家族、市民などの役割も含まれる。**

7. キャリアの定義②

さまざまな研究者（理論家）がキャリアを定義してきているが、それらに共通する含意として考えられるもののうち、誤っているものはどれか。

1. 個人の人生の中で内的にも外的にも、何らかの意味で発達的な要素を含む仕事（職業的）移動
2. 個人の生涯にわたって継続するものである
3. キャリアの中心になるものは、個人にふさわしい人間的成長や自己実現である
4. 対価（報酬）を得られるものである

7. キャリアの定義②

さまざまな研究者（理論家）がキャリアを定義してきているが、それらに共通する含意として考えられるもののうち、誤っているものはどれか。

1. 個人の人生の中で内的にも外的にも、何らかの意味で発達的な要素を含む仕事（職業的）移動
2. 個人の生涯にわたって継続するものである
3. キャリアの中心になるものは、個人にふさわしい人間的成長や自己実現である
4. ~~対価（報酬）を得られるものである~~

8. ゴットフレッドソンの制限妥協理論

ゴットフレッドソンの制限妥協理論のうち、誤っているものはどれか

1. 3～5歳（就学前） サイズとパワー
2. 6～8歳（小学生） 性役割
3. 9～13歳（中学生） 自己評価
4. 14歳以上（高校生以上） 内的な固有の自己（職業興味など）

8. ゴットフレッドソンの制限妥協理論

ゴットフレッドソンの制限妥協理論のうち、誤っているものはどれか

1. 3～5歳（就学前） サイズとパワー
2. 6～8歳（小学生） 性役割
3. 9～13歳（中学生） **自己→社会的** 評価
4. 14歳以上（高校生以上） 内的な固有の自己（職業興味など）

9. コクランのナラティブアプローチ①

コクランのナラティブアプローチとして、誤っているものはどれか

1. 物語（ナラティブ）に加えて、「意味」を強調する。
2. キャリアカウンセリングは、あるキャリアの筋書きの中でどのような主人公を演じるかに関心を持つ
3. 適切な雇用とは、マッチング理論に基づく
4. 適切な雇用とは、あるドラマの中で、あるキャラクターを演じることができる適切な乗り物のことでもある

9. コクランのナラティブアプローチ①

コクランのナラティブアプローチとして、誤っているものはどれか

1. 物語（ナラティブ）に加えて、「意味」を強調する。
2. キャリアカウンセリングは、あるキャリアの筋書きの中でどのような主人公を演じるかに関心を持つ
3. 適切な雇用とは、~~マッチング理論に基づく~~単にマッチングするだけではなく、
4. 適切な雇用とは、あるドラマの中で、あるキャラクターを演じることができる適切な乗り物のことでもある

10. コ克蘭のナラティブアプローチ②

コ克蘭のナラティブアプローチは「物語」（ナラティブ）に加えて、「意味」を強調するが、「物語」が「意味」にとって重要になる理由として誤っているものはどれか

1. 物語は時間的な構造を提供し、始まり、中間点、終わりを全体の中に統合する。
2. 物語は、不定形に広がる各要素あるいは要素群を全体へと位置付ける統合的な構造である
3. 物語の筋書きには意味がある。
4. 物語における「意味」とは、目的に向かって無意味にさまようことである。

10. コ克蘭のナラティブアプローチ②

コ克蘭のナラティブアプローチは「物語」（ナラティブ）に加えて、「意味」を強調するが、「物語」が「意味」にとって重要になる理由として誤っているものはどれか

1. 物語は時間的な構造を提供し、始まり、中間点、終わりを全体の中に統合する。
2. 物語は、不定形に広がる各要素あるいは要素群を全体へと位置付ける統合的な構造である
- 3・4. 物語の筋書きには意味がある。それは、目的に向かって無意味にさまようことではなく、自分がどんな人間なのか、他人がどんな存在なのか、世界がどんなものか、物事はどのように機能し、何かが達成されるかについて、暗黙に抱いている信念を統合する。

11. コクランのナラティブアプローチ③

コクランが述べた「キャリアカウンセリングの課題」

➡ 「人々が意味あるキャリア・ナラティブを構築し、実行するのを支援すること」

12. プロットのストーリード・アプローチ

プロットのストーリード・アプローチについて、誤っているものはどれか。

1. 共構築：クライアントと協働してライフ・ストーリーに織り込まれた意味を明らかにする。
2. 脱構築：ライフ・ストーリーに他者の視点が入り込む余地を開き、異なる観点を確認し、ストーリーの捉え方の余地を広げる。
3. 構築：クライアントの未来の章を再著述する。自尊心と能力に基づいた、新しくより生産的なストーリーの構築である。
4. 初構築：初職における観点の拠り所となる。クライアントにとっては初めてのストーリーの構築となる。

12. プロットのストーリード・アプローチ

プロットのストーリード・アプローチについて、誤っているものはどれか。

1. 共構築：クライアントと協働してライフ・ストーリーに織り込まれた意味を明らかにする。
2. 脱構築：ライフ・ストーリーに他者の視点が入り込む余地を開き、異なる観点を確認し、ストーリーの捉え方の余地を広げる。
3. 構築：クライアントの未来の章を再著述する。自尊心と能力に基づいた、新しくより生産的なストーリーの構築である。
4. ~~初構築：初職における観点の拠り所となる。クライアントにとっては初めてのストーリーの構築となる。~~

13. サビカス「ライフデザイン」

サビカスのライフデザインにおける「介入」の基本について、誤っているものはどれか。

1. 小さなストーリーを通じてキャリアを構築する。
2. ストーリーを脱構築して、アイデンティティ・ナラティブあるいはライフ・ポートレートとなる語りを再構築する。
3. 現実の世界で次の行動のエピソードへとつながる意図を共構築する。
4. 初職における「初構築」への介入は特に慎重に行う。

13. サビカス「ライフデザイン」

サビカスのライフデザインにおける「介入」の基本について、誤っているものはどれか。

1. 小さなストーリーを通じてキャリアを構築する。
2. ストーリーを脱構築して、アイデンティティ・ナラティブあるいはライフ・ポートレートとなる語りを再構築する。
3. 現実の世界で次の行動のエピソードへとつながる意図を共構築する。
4. ~~初職における「初構築」への介入は特に慎重に行う。~~

14. ナンシー・アーサーのCICCモデル

ナンシー・アーサーの文化を取り入れたキャリアカウンセリングモデル（CICCモデル）の4つの領域のうち、誤っているものはどれか。

1. 自分の文化的アイデンティティを知る。
2. 他者の文化的アイデンティティを知る。
3. 作業同盟に対する文化的な影響を理解する。
4. 文化的に対応した、職場の多数派が納得するキャリア支援を行う。

14. ナンシー・アーサーのCICCモデル

ナンシー・アーサーの文化を取り入れたキャリアカウンセリングモデル（CICCモデル）の4つの領域のうち、誤っているものはどれか。

1. 自分の文化的アイデンティティを知る。
2. 他者の文化的アイデンティティを知る。
3. 作業同盟に対する文化的な影響を理解する。
4. 文化的に対応した、~~職場の多数派が納得する~~→社会的に公平なキャリア支援を行う。

15. 社会正義のキャリアカウンセリング論

OECDのキャリアガイダンスの3つの目的に含まれないものはどれか。

1. 労働市場をより効果的に機能させる。
2. 教育訓練のミスマッチを防ぐ。
3. 社会的な平等や社会的な包摂を推進する。
4. 貧困の連鎖をキャリア支援によって断ち切る。

15. 社会正義のキャリアカウンセリング論

OECDのキャリアガイダンスの3つの目的に含まれないものはどれか。

1. 労働市場をより効果的に機能させる。
2. 教育訓練のミスマッチを防ぐ。
3. 社会的な平等や社会的な包摂を推進する。
4. ~~貧困の連鎖をキャリア支援によって断ち切る。~~

16. ハーのキャリアカウンセリングの特徴

ハーのキャリアカウンセリングの定義の中で述べられた、キャラカウンセリングの特徴のうち、誤っているものはどれか。

1. 大部分は非言語によるプロセスである。
2. カウンセラーとクライアント（1人または複数の）とが、ダイナミックな相互作用を行う。
3. カウンセラーは、さまざまな行動的レパトリーを使用する。
4. カウンセラーは、自分の行動に責任を持つカウンセラーが自己理解を深め、「良い」意思決定という形で行動がとれるようになることを援助する。

16. ハーのキャリアカウンセリングの特徴

ハーのキャリアカウンセリングの定義の中で述べられた、キャラカウンセリングの特徴のうち、誤っているものはどれか。

1. 大部分は**非**言語によるプロセスである。
2. カウンセラーとクライアント（1人または複数の）とが、ダイナミックな相互作用を行う。
3. カウンセラーは、さまざまな行動的レパトリーを使用する。
4. カウンセラーは、自分の行動に責任を持つカウンセラーが自己理解を深め、「良い」意思決定という形で行動がとれるようになることを援助する。

17. 自己理解の特徴

自己理解の特徴のうち、誤っているものはどれか。

1. 自分自身を分析し、さらに統合するという手続きをとる。
2. 自分を描写する言葉や方法は、主観的なものを大切にする。
3. 自己理解には、自己の個性について知るだけでなく、自己と環境の関係、つまり環境の中の自己について知ること含まれる。
4. 自己理解は、包括的かつ継続的に行われなければならない。

17. 自己理解の特徴

自己理解の特徴のうち、誤っているものはどれか。

1. 自分自身を分析し、さらに統合するという手続きをとる。
2. 自分を描写する言葉や方法は、~~主観的なものを大切に~~する→客観的でなければならない。
3. 自己理解には、自己の個性について知るだけでなく、自己と環境の関係、つまり環境の中の自己について知ることにも含まれる。
4. 自己理解は、包括的かつ継続的に行われなければならない。

18. マクレランドのモチベーション分類

マクレランドが分類したモチベーションについて、誤っているものはどれか。

1. 達成動機
2. 権力動機
3. 所属動機
4. 生理的動機

18. マクレランドのモチベーション分類

マクレランドが分類したモチベーションについて、誤っているものはどれか。

1. 達成動機
2. 権力動機
3. 所属動機
4. ~~生理的動機~~

19. その他モチベーション理論

モチベーション理論のうち、誤っているものはいくつあるか。

1. デシは、内発的動機付けの重要性を強調した。
2. アルダーファは、メイヨアの学説を修正・発展させ、生存、関係、成長の3つの欲求に集約したERG理論を提唱した。
3. アダムズは「自分の入力（I：Input）と出力（O：output）」と「他人の入力と出力」の比率に着目した公平理論を提唱した。
4. ワーク・エンゲージメントは、熱意・没頭・活力の3つが揃った状態と定義される。

19. その他モチベーション理論

モチベーション理論のうち、誤っているものはいくつあるか。

1. デシは、内発的動機付けの重要性を強調した。
2. アルダーファは、~~メイヨー~~→マズローの学説を修正・発展させ、生存、関係、成長の3つの欲求に集約したERG理論を提唱した。
3. アダムズは「自分の入力（I：Input）と出力（O：output）」と「他人の入力と出力」の比率に着目した公平理論を提唱した。
4. ワーク・エンゲージメントは、熱意・没頭・活力の3つが揃った状態と定義される。

20. 追記：サビカス

サビカスは、キャリア構築理論で有名なP-Eシンボルの「人」でも「環境」でもなく、ダッシュ「**一**」に焦点を当てると述べる。

合格を心よりお祈りしております！

<https://career19.link>

こちらも併せてチェック！
チャンネル登録もして頂けると嬉しいです。

